

# 謹賀新年

～平成25年～

加東市長

安田正義



加東市議会議長

井上茂和



平成25年の輝ける新春を、健やかにお迎えになられたこととお慶び申し上げます。今年の干支である「巳」という文字は、蛇が冬眠から目覚めて地上にはい出す姿を表しているといわれ、「起こる、始まる」などの意味があるそうです。

昨年は、源平争乱が脚光を浴びました。ここ加東市も、源義経が平家軍を打ち破った「三草合戦」の舞台として縁深く、ゆかりの地を巡るバスツアーには、多くの方々にご参加いただきました。また、加東市が誇る国宝「朝光寺本堂」も約80年ぶりという大修理を終え、荘厳な姿を私たちに見せてくれています。このように、このまちの歴史の深さや伝統の素晴らしさを再発見できた年であったように思います。

今年は、新庁舎がいよいよ完成を迎える（移転は平成26年春）ほか、まちの将来像を示す「加東市総合計画」の後期基本計画の取組期間がスタートします。こうしたシンボルや指針に基づき、まちづくりは新たなステージへと歩みを進めます。

時代は今、変化のときを迎えています。加東市にとっても、培われてきた歴史や伝統、人々の絆、そしてみなさまの活力を礎として、「輝く加東」の実現に向けて、未来を切り開いていく年となることを願っています。

本年がみなさま方にとって、さらなる飛躍の年となることを祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

みなさま方には、平成25年の初春を健やかにお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

平素は、議会活動に深いご理解とご支援をいただいておりますことに、厚くお礼申し上げます。加東市議会では、全国的に議会改革が取り組まれている状況の中で、市民のみなさま方にとって分かりやすい議会を目指し、平成22年11月に議会基本条例を制定し、順次改革に取り組んでいます。議会改革ランキングは全国でも41位と上位に位置していますが、まだまだ中身を充実していく必要があると考えています。

また、「安全・安心のまちづくり」の推進、「夢がきらめく☆元気なまち加東」に向けて、議会・行政・市民のみなさまそれぞれが緊張感を持つ中で、お互いの信頼関係を築き上げていくことが必要と考えています。そして議会が市民の負託に応え、加東市の発展と市民福祉の向上のため、その役割を果たすためには、三つの目が大切であると思っております。まず、全体を捉える「鳥の目」。次に、しっかりと足元を見据える「虫の目」。そして、周りの流れを読む「魚の目」であります。

そのうえで、公平・公正な議会運営と、さらなる議会改革に取り組んでまいりますので、みなさまのご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

本年がみなさまにとって、ますますの飛躍の年となりますようお祈り申し上げます、年頭のごあいさつといたします。